

平成 2 9 年 度

事業報告書

社会福祉法人 大口町社会福祉協議会

1. 社協組織の充実と会員の拡大

高齢になっても障がいがあってもすべての人が、いままで大切にしてきた家族やつながり、地域との関係の中で暮らし続けていくことができるような地域社会を作っていく「地域福祉」の推進を目的として、社協組織を運営し、事業推進における自主財源確保に努めた。

- (1) 理事会、評議員会を開催し情報の共有化を図るとともに、社協関連組織全体での研修会を開催、地域福祉についての理解を深め事業推進に努めた。

ア. 理事会の開催

第1回	平成29年5月15日
議案第1号	平成28年度社会福祉法人大口町社会福祉協議会事業報告について
議案第2号	平成28年度社会福祉法人大口町社会福祉協議会一般会計決算について
議案第3号	社会福祉法人大口町社会福祉協議会理事の職務権限に関する規程の制定について
議案第4号	社会福祉法人大口町社会福祉協議会事務決裁規程の全部改正について
議案第5号	社会福祉法人大口町社会福祉協議会役員、職員の給与諸手当並びに旅費に関する規程の一部改正について
議案第6号	社会福祉法人大口町社会福祉協議会理事、監事及び評議員の報酬等に関する規程の制定について
議案第7号	社会福祉法人大口町社会福祉協議会情報公開規程の制定について
議案第8号	社会福祉法人大口町社会福祉協議会情報公開規程施行細則の制定について
議案第9号	社会福祉法人大口町社会福祉協議会定款施行細則の一部改正について
議案第10号	社会福祉法人大口町社会福祉協議会事務局及び職員規程の制定について
議案第11号	社会福祉法人大口町社会福祉協議会新役員候補者選任について
議案第12号	社会福祉法人大口町社会福祉協議会福祉サービスに関する苦情解決に係る第三者委員の選任について
報告第1号	会長及び常務理事の職務の執行状況について
第2回	平成29年5月31日
議案第13号	社会福祉法人大口町社会福祉協議会会長の選定について
議案第14号	社会福祉法人大口町社会福祉協議会副会長の選定について
議案第15号	社会福祉法人大口町社会福祉協議会常務理事の選定について
議案第16号	社会福祉法人大口町社会福祉協議会経理規程の全部改正について
議案第17号	平成29年度社会福祉法人大口町社会福祉協議会一般会計補正予算(第1号)について
議案第18号	平成29年度大口町表彰式に係る被表彰者の選考について
報告第2号	会長の職務執行状況について

第3回	平成30年2月27日
議案第19号	大口社協訪問介護（介護予防訪問介護）事業所運営規程の全部改正について
議案第20号	大口社協訪問介護事業所介護予防訪問型サービス事業運営規程の制定について
議案第21号	大口社協デイサービスセンター運営規程の全部改正について
議案第22号	大口社協デイサービスセンター介護予防通所型サービス事業運営規程の制定について
議案第23号	大口社協デイサービスセンター介護予防通所型サービスミニデイ事業運営規程の制定について
第4回	平成30年3月15日
議案第24号	平成30年度社会福祉法人大口町社会福祉協議会事業計画について
議案第25号	平成30年度社会福祉法人大口町社会福祉協議会一般会計予算について
議案第26号	社会福祉法人大口町社会福祉協議会公印規程の一部改正について
議案第27号	社会福祉法人大口町社会福祉協議会経理規程の一部改正について
議案第28号	社会福祉法人大口町社会福祉協議会評議員選任・解任委員会委員選任細則の一部改正について
議案第29号	社会福祉法人大口町社会福祉協議会事務局及び職員に関する規程の一部改正について
議案第30号	社会福祉法人大口町社会福祉協議会法令遵守規程の一部改正について
議案第31号	社会福祉法人大口町社会福祉協議会日常生活自立支援事業に係る保管物品管理規程の一部改正について
議案第32号	社会福祉法人大口町社会福祉協議会一部規程等に係る略称規定の改正について
議案第33号	社会福祉法人大口町社会福祉協議会理事候補者の選任について
報告第3号	評議員選任・解任委員会開催報告について
報告第4号	会長の職務執行状況報告について
第5回	平成30年3月30日
議案第34号	社会福祉法人大口町社会福祉協議会常務理事の選定について
議案第35号	社会福祉法人大口町社会福祉協議会個人情報保護規程の全部改正について
議案第36号	社会福祉法人大口町社会福祉協議会情報公開規程の一部改正について
議案第37号	社会福祉法人大口町社会福祉協議会情報公開規程施行細則の一部改正について

イ. 評議員会の開催

第1回	平成29年5月31日
議案第1号	平成28年度社会福祉法人大口町社会福祉協議会事業報告について
議案第2号	平成28年度社会福祉法人大口町社会福祉協議会一般会計決算について
議案第3号	社会福祉法人大口町社会福祉協議会理事、監事及び評議員の報酬等に関する規程の制定について
議案第4号	社会福祉法人大口町社会福祉協議会理事、監事の任期満了に伴う選任について

第2回	平成30年3月30日
議案第5号	平成29年度社会福祉法人大口町社会福祉協議会一般会計補正予算(第1号)について
議案第6号	平成30年度社会福祉法人大口町社会福祉協議会事業計画について
議案第7号	平成30年度社会福祉法人大口町社会福祉協議会一般会計予算について
議案第8号	社会福祉法人大口町社会福祉協議会理事の選任について
報告第1号	会長の職務執行状況報告書について

ウ. 研修会の開催

「平成29年度大口町社会福祉協議会合同研修会」

対象 社会福祉協議会理事・監事・評議員、民生委員・児童委員

講師 社会福祉法人津島市社会福祉協議会

生活支援コーディネーター 鴻巣 弘美 氏

開催日	場所	内容	参加数
平成30年 2月27日	健康文化 センター1階 多目的室	「地域みんなでささえるしくみ～生活支援サービスについて～」 ・津島市の生活支援サービスの実例紹介 ・町内の生活支援(支え合い活動)を考えるグループワーク等	48名

(2) 自主財源確保に努め、相互扶助推進の高揚を図り、会員募集に努めた。

*会員募集期間/7月～8月

*会費金額

一般会員 500円・賛助会員 1,000円・法人会員 3,000円

ア. 会員募集加入状況

*上段は平成29年度実績・下段は平成28年度実績

区分	加入数	金額	増減額	加入率
一般・賛助	4,844件	2,474,500円	▲40,500円	56%
	4,913件	2,515,000円		59%
法人	85件	528,000円	57,000円	/
	74件	471,000円		
その他	23件	11,500円	1,100円	
	57件	10,400円		
合計		3,014,000円	17,600円	
		2,996,400円		

(加入率:各年度6月1日時点の大口町行政区別集計世帯数から寮世帯を除いた世帯数に対する会員加入数から算出)

2. 広報・啓発活動

町民の方々に広報やホームページなどさまざまな媒体を通して社協情報を発信した。

(1) 広報「社協だより」を年4回発行し情報提供の充実を図るとともに、「広報おおぐち」においても事業の啓発や案内を掲載し情報発信をした。

*社協だより発行月 4月・7月・10月・1月

*発行部数 8,600部

(2) 公式ホームページを更新し、見やすい社協をこころがけ、事業を公表、事業の利用及び参加・協力を働きかけた。

(3) 視覚障がい者への音訳サークルによるカセットテープ・CDを利用した「声の広報」サービス、点訳サークルによる点訳サービス及びバリアフリー化支援ソフトを使用したホームページから福祉情報を発信した。

(4) 大口町ふれあいまつりにおいて「ふくしわくわくランド」を開催し、ボランティア団体とともに福祉のPRと啓発に努めた。

①ブース出展参加者数 117名

②スタンプラリー体験者数 418名

ア. ふくしわくわくランド

開催日	場所	参加団体	実施内容
11月4日	中央公民館 駐車場	①高齢者疑似体験うさぎとかめ	装具体験、高齢者体験
		②要約筆記スマイル大口	OHP体験
		③大口町手話サークル	手話体験、クイズ
		④防災ボランティアD・サポート丹羽	防災クイズ
		⑤災害救援ボランティア	はそりを使った炊出し実演
		⑥ボランティアなでしこ	手作りバッグ展示販売
		⑦大口絆つなぐネット	災害時炊き出し訓練
		⑧おもちゃ病院おおぐち	おもちゃ修理、回収
		⑨トヨタ紡織(株)	車いす掃除
		⑩大口町共同募金委員会	赤い羽根共同募金・災害義援金募集、障がい者スポーツ啓発
		⑪大口町社会福祉協議会	パネル展示
		⑫豊丸産業株式会社	福祉向けパチンコの体験
11月5日	おもちゃ 図書館	⑬大口おもちゃ図書館さくら	おもちゃ遊び、バザー

(※) 災害時炊き出し訓練は「16. 防災・災害事業」(2)の項目で別記

3. ボランティア活動の強化と拡大

ボランティアの拡大を図るとともに、行政、NPO、市民活動団体等の機関との連携を図れるようコーディネートした。

- (1) 町内児童センターにおいて、ボランティアサークルが「夏休みボランティア出前講座」を行い、児童クラブ・児童センターを利用する児童や地域住民を対象に、活動の紹介や福祉教育の推進に努めた。

ア. 夏休みボランティア出前講座

開催日	サークル名 (人数)	場所	内容	参加数
8月2日	高齢者疑似体験 うさぎとかめ (6名)	西児童 センター	高齢者疑似体験の装具を使って、高齢者の身体機能を体験しよう	40名
8月17日	災害救援 ボランティア (12名)	北児童 センター	災害時に命を守るロープの結び方、新聞紙スリッパ、三角巾を使った応急処置を覚えよう	55名
8月24日	手話サークル コスモス (10名)	南児童 センター	耳の不自由な方と一緒に、手話で挨拶やゲームをしよう	53名

- (2) 養成講座や研修を開催し、ボランティアの育成やグループの補強及び支援を図った。

ア. おもちゃ図書館ボランティア養成講座

講師 大口おもちゃ図書館さくら

愛知県おもちゃ図書館連絡協議会会長 高村 豊 氏

成果 障がいの有無を問わず、子どもたちの発達を促すおもちゃ遊びの基礎を学ぶ講座を開催し、既存のおもちゃ図書館ボランティアサークルの補強を行うことができた。

開催日	場所	内容	参加数
8月17日	健康文化 センター2階 おもちゃ図書館	大口おもちゃ図書館さくらによる 「おもちゃ図書館誕生ヒストリー」紹介 手作りおもちゃ作成	4名
8月24日		高村 豊 氏による講義 「遊びとおもちゃ、子どもの発達」	4名

イ. 点字教室サポーター養成講座

講師 点訳フレンド

成果 小学校の福祉実践教室（点字教室）の講師活動に必要な点訳技術の基礎を学ぶ講座を開催し、既存の点訳ボランティアサークルの補強を行うことができた。

開催日	場所	内容	参加数
9月5日	健康文化 センター2階 ボランティア室	点訳ボランティアによる点字の基礎 講義、点字教室の指導方法の解説	2名
9月12日		点字ソフトを使って打った文章を点 字プリンターで印刷する体験	1名

ウ. 運転ボランティア養成講座

講師 名鉄自動車専門学校 教習部 鈴木 忠夫 氏 一野 広明 氏
総務部 石黒 耕太郎 氏

成果 ふれあいサロン等へ高齢者を送迎する運転ボランティアを育成し、安心・安全な運転の実践に必要な支援を行うことができた。

開催日	場所	内容	参加数
10月23日	名鉄自動車 専門学校	交通安全運転講習 ・教習車で教習場・路上コースの走行 ・専門の教官による実技指導、ワンポ イントアドバイス、講評 ・安全運転に必要な視野動体測定等	3名

(※)「18. 生活支援体制整備事業」(1)の項目で別記

エ. レクリエーションボランティア養成講座

講師 日本レクリエーション協会公認指導者 中野 金弘 氏

成果 地域の集いの場で活躍するレクリエーションボランティアを養成する講座を開催し、ボランティアサークルの立ち上げと、実際に地域の集いの場でのボランティア活動につなげることができた。

開催日	場所	内容	参加数
11月15日	生きがい活動 支援センター	・福祉におけるレクリエーション講義 ・すぐに役立つふれあいゲームの紹介	14名
11月22日		・地域の集いの場で活かせる演劇手法 を取り入れた劇遊び ・グループでレクリエーションゲーム 演習、発表	13名

(※)「18. 生活支援体制整備事業」(1)の項目で別記

- (3) ボランティアセンター運営委員会、ボランティア連絡協議会合同研修を開催し、平成29年度研修テーマ「ボランティアの力をつけよう(そして仲間を増やそう)」について学び相互の交流を深めた。

開催日	場所	内容	参加数
7月14日	武豊町 ・社会福祉協議会 ・ボランティアセンター	武豊町ボランティア連絡協議会との研修交流会を開催し、活動発表や情報交換を行った。	30名

- (4) 「社協だより」にボランティアコーナー「ボランティア情報局」を掲載し情報を発信した。

- (5) ボランティア登録団体への活動育成費を助成した。

助成団体	助成金額
18団体	218,699円

- (6) ボランティア連絡協議会定例会を年6回開催し、情報の発信とボランティア相互の交流及び共通のテーマについての研修活動を支援した。

ア. 平成29年度テーマ「ボランティアの力をつけよう(そして仲間を増やそう)」に関する研修活動

開催日	講師・研修先	内容
5月12日 (第1回)	日本赤十字社愛知県支部 若杉 英夫氏	「日本赤十字による災害時救急法を再度学ぼう」
7月14日 (第2回)	武豊町社会福祉協議会 武豊町ボランティアセンター	武豊町ボランティア連絡協議会との研修交流会(ボランティアセンター運営委員会合同研修)
9月8日 (第3回)	在宅鍼灸マッサージひので 服部 高德氏 訪問看護ステーション洋裕 外川 聖仁氏	講話 「高齢者が骨折しやすい四大部位」
11月10日 (第4回)	大口社協デイサービスセンター 石本 靖幸	「脳トレーニングと体操」
1月12日 (第5回)	災害救援ボランティア	「災害非常食であったかご飯」
3月9日 (総会)	大治町ボランティア団体 *ほうーゆう*	「お疲れ様ハンドマッサージ」

イ. ボランティア連絡協議会総会(2年に1回開催)

開催日	場所	内容
3月9日	健康文化センター1階 多目的室	・ボランティア連絡協議会事業計画について ・ボランティア連絡協議会役員改選について

(7) ボランティア保険の加入及び事故時の保険金請求等の事務手続きを行った。

ア. ボランティア登録者状況 (ボランティア活動保険加入者数)

*上段は平成 29 年度実績・下段は平成 28 年度実績

	団体数	人 数	男 性	女 性
グループ	54	947名	368名	579名
	57	889名	354名	535名
個人		5名	1名	4名
		6名	3名	3名
計		952名	369名	583名
		895名	357名	538名
増減人員		57名	12名	45名

イ. 事故件数 0件

(8) 町内企業と連携を図り協働事業を行った。

(※) トヨタ紡織(株)との協働事業は「2. 広報・啓発活動」(4)の項目で別記

(9) ボランティア派遣依頼の調整を行った。

ア. 相談及び派遣件数

相談件数	派遣件数
14件 (※)	7件

(※) 相談件数は、本会の派遣決定を要さない相談・連絡調整のみの件数を含む

イ. 上記派遣件数のうち、学校からの依頼による派遣

協力団体 高齢者疑似体験 うさぎとかめ

開催日	場所	内容	参加数
11月16日	尾北看護 専門学校	老年看護学概論の講義として、学生を対象に高齢者疑似体験の実践指導	42名

(10) 他市町村のボランティア・社協と共催して、西尾張ブロックボランティアフェスティバルを開催した。

ア. 西尾張ブロックボランティアフェスティバル

参加者 ボランティアなでしこ 3名
 ボランティア連絡協議会役員 4名
 社会福祉協議会職員 5名

実施日	場所	内容	参加数
12月10日	一宮市 尾西市民会館 尾西生涯学習 センター	「思いやり めくもり織りなす ボランティア」をテーマに、西尾張ブロック14市町村のボランティア団体・社会福祉協議会と共催し、ブース出展やステージによる活動発表と相互交流等を行った。	700名 (会全体)

(11) 地域防災の一端（ボランティア対策部）を担う社協として、大規模災害時に備え関係団体等との情報共有と連携強化に努めた。

4. 児童福祉

次世代育成としての子育て支援や小中学校での福祉教室、青少年ボランティア福祉体験学習事業を実施することにより、命の大切さや「ともに生きる」力を育くみ、地域の一員としての自覚が芽生えるよう事業を推進した。

(1) 町内小中学校と協働し福祉教室（福祉実践教室・総合学習）を実施した。

ア. 参加人数・実施科目等

学校名	学年	教室数	参加人数	月日	実施科目
大口中学校	1年生	7教室	235名	5月24日～ 5月26日	知的障がい・ 発達障がい理解
南小学校	3年生	2教室	67名	6月15日	手話教室
	4年生	1教室	23名	6月15日	点字教室
		1教室	24名	6月15日	視覚障がい者 ガイドヘルプ
	5年生	1教室	56名	6月16日	車いす体験
	6年生	1教室	58名	6月29日	盲導犬教室
北小学校	3年生	1教室	32名	10月10日	車いす体験
		2教室	33名	10月10日	手話教室
		1教室	32名	10月10日	高齢者疑似体験
		1教室	97名	10月16日	盲導犬教室
西小学校	6年生	3教室	76名	6月8日	手話教室
		1教室	76名	7月5日	車いす体験
		1教室	76名	10月16日	防災教室
		1教室	25名	11月13日	点字教室
		2教室	26名	11月13日	視覚障がい者 ガイドヘルプ
			25名	11月13日	盲導犬教室
		1教室	38名	11月27日	高齢者疑似体験
1教室	38名	11月27日	認知症キッズサポ ーター養成講座		
4小中学校合計		28教室	延1,037名		

(2) 子育て支援サークルに助成した。

(3) おもちゃ病院おおぐちの活動を支援した

(4) 青少年等ボランティア福祉体験学習事業を実施した。

期間	場所（町内高齢者及び児童福祉施設等）	参加数
8月18日 21日 23日 24日 25日	①軽費老人ホーム 大口一期一会荘 ②特別養護老人ホーム 御桜乃里 ③グループホームしん・かむおん ④デイサービスゆい ⑤大口社協デイサービスセンター ⑥南・北・西児童センター ⑦南・北・西・中保育園 ⑧大口幼稚園、ラ・モーナ幼稚園	延78名 (大口中学校 JVC)

(5) 民生委員児童委員が行うドアノッキング事業に協力し、赤ちゃん訪問時にお祝い品をプレゼントした。

項目	5ヶ月訪問	1歳訪問
配布数（品目）	252名（絵本）	247名（スプーンセット）

(6) 子育てサロン「まむ・まむ」の活動支援を行った。

(※)「8. ふれあいサロン事業」の項目で別記

(7) 親子や家族で参加できる親子福祉教室（施設見学バスツアー）を実施し、家族で福祉について考える機会を提供した。

見学施設数 12か所（うち施設内見学3か所、給食試食1か所）

参加者数 19名（大人15名、小・中学生4名）

開催日	種別	施設名称	見学方法
8月3日	高齢者	大口ケアセンターあかり	施設内見学・説明
	高齢者	特別養護老人ホーム 御桜乃里	施設内見学・説明
	高齢者	住宅型有料老人ホーム Kライン・ケアレジデンス大口	施設内見学 給食試食
	高齢者	みつばのシルバーハウスおおぐち	外から見学・資料により施設紹介
	高齢者	大口社協デイサービスセンター 大口町生きがい活動支援センター	
	高齢者	老人保健施設 さくら荘	
	高齢者	有料老人ホーム 太郎と花子	
	児童	発達支援室 ふきの塔・そらま芽	
	障がい者	ハートフル大口	
	高齢者	NPO法人わたぼうし	
	高齢者	じゃがいもグループホームしん・かむおん	
	高齢者	軽費老人ホーム 大口一期一会荘	

5. 高齢者福祉

高齢者にかかる地域課題について専門機関、福祉施設、行政、地域関係者との調整を図りながら解決に向けた取組みを展開し、さらに高齢者が住み慣れた地域で、安心して暮らすことのできる「地域づくり」の推進や要介護者に対する支援事業の拡大に努めた。

- (1) 民生委員児童委員と大口水彩画クラブの協力で、85歳以上の単身高齢者・高齢者世帯を訪問し、おせち料理配と絵手紙を届けた。

実施日 平成29年12月30日

項目	単身高齢者世帯	高齢者世帯	合計
配布数	45世帯	10世帯	55世帯

- (2) 満88歳の米寿の方を対象に、ご自宅を訪問し、敬老のお祝い品と絵手紙、メッセージカードを贈呈した。

実施期間 平成29年4月～平成30年3月

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
配布数	3	0	3	4	1	6	4	6	7	7	5	9	55名

- (3) 「社協だより」に介護者向け情報「介護豆知識」を掲載し、情報を発信するとともに、情報冊子として対象世帯に配布した。

- (4) 弁護士による相談日を設けた。

高齢者・障がい者のための弁護士相談

開催日 第4水曜日 13:30～16:30

(※)「12. 相談事業」(1)の項目で別記

- (5) 認知症の当事者家族の支援や介護予防の取り組みとして、認知症カフェ「オレンジカフェ・大口」の運営を支援した。大口町地域包括支援センターと大口町歴史民俗資料館の協力を得て、介護相談や回想法を取り入れたレクリエーションを実施した。

開催日 毎月第3木曜日 13:30～15:00

場所 大口町生きがい活動支援センター

ア. オレンジカフェ・大口 開催実績

開催日	内容	参加数	内スタッフ数
4月20日	昔なつかしい道具たち（学校）	27	7
5月18日	昭和イントロクイズ	26	7
6月15日	昔なつかしい道具たち（田植え）	28	7
7月20日	昔なつかしい道具たち（洗濯）	30	7
8月17日	昔なつかしい道具たち（夏のあそび）	26	6
9月21日	昭和イントロクイズ	28	7
10月19日	昔なつかしい道具たち（秋祭り）	29	7
11月16日	昔なつかしい道具たち（かまど）	29	6
12月21日	昔なつかしい道具たち（大掃除、おせち料理）	25	6
1月18日	昔なつかしい道具たち（お正月あそび）	29	7
2月15日	昔なつかしい道具たち（暖房器具）	26	7
3月15日	昭和イントロクイズ、3周年祝	31	7
合計		延334	81

(※)「8. ふれあいサロン事業」の項目で別記

(6) 介護者のつどいを開催し、介護者同士の交流の場やリフレッシュできる機会を提供した。

開催日	場所	内容	参加数
11月9日	生きがい活動支援センター	<ul style="list-style-type: none"> ・リフレッシュアロマ講座 (ブレンドオイル作り、ハンドマッサージ) ・介護者同士の茶話会 	17名

(7) 大口町高齢者軽度生活援助事業（ホームヘルパー）を受託した。

(8) 大口町生きがい活動支援通所事業（デイサービス）を受託した。

(9) 大口町はつらつ健康体操（いきいき教室）を受託した。

(※)「14. 在宅福祉サービス3事業所の経営」の項目で別記

6. 障がい児者福祉

障がいがあってもいきいきと暮らしやすい地域にしていくことを目指し、専門家による相談事業の充実や外出支援、参加型事業の推進に努めた。

- (1) 大口町障がい者スポーツ大会運営委員会の企画運営で「第33回大口町障がい者スポーツ大会」を開催し、障がいをお持ちの方とその家族が、スポーツをとおして仲間や地域住民、ボランティア、民生委員児童委員等と交流をはかり、社会参加の一助となる機会を提供することができた。

参加者 身体障害者福祉協会、心身障害児(者)親の会、その他一般参加協力団体 丹羽高校吹奏楽部、仲沖太鼓クラブ、JOY☆UP、江南ロータリークラブ、(株)東海理化、民生委員・児童委員協議会、ボランティア連絡協議会

開催日	場所	内容	参加数
6月2日	中央公民館 集会室	ボランティア、民生委員児童委員の協力により、大会会場準備	69名
6月3日		ナイスシュート、車いす競争 パン食い競争、デカパン競争 玉入れ ボッチャの障がい者スポーツデモン ストレーション、障がい者ダンスチ ームJOY☆UPアトラクション、 丹羽高校バンド演奏、総踊り	305名

- (2) 重度身体障がい者日帰り事業を開催し、外出の機会を提供した。

開催日	場所	内容	参加数
10月20日	琵琶湖ミシガンクルーズ・びわ湖大津館	貸切りフト付きバス利用。ミシガンクルーズ乗船、びわ湖大津館等	18名

- (3) 大口おもちゃ図書館「さくら」の活動を支援した。

- (4) 弁護士による相談日を設けた。

(※)「12. 相談事業」(1)の項目で別記

- (5) 大口町障害者等地域生活支援事業(移動支援事業)を受託した。

(※)「15. 在宅福祉サービス3事業所の経営」の項目で別記

- (6) 精神障がい者を対象とするふれあいサロン「フリースペース れんげそう」の運営を支援した。(※)「8. ふれあいサロン事業」の項目で別記

7. 母子父子福祉

ひとり親家庭対象の事業を実施し、生活課題や問題点について検討、相談事業の充実や教育における貸付事業の周知を図りながら、自立支援できる体制づくりを推進した。

- (1) ひとり親家庭日帰り旅行を開催し、親子のふれあいや親同士の交流の機会を提供した。

開催日	場所	内容	参加数
8月5日	ユニバーサル・スタジオ・ジャパン（大阪府）	貸切大型バスを利用。アトラクションの体験等	18家族 43名

- (2) 母子家庭等に対する相談事業として、相談日を月1回設けた。

県母子父子自立支援員による母子父子自立支援相談

開催日 第1水曜日 10:00～15:30

(※)「12. 相談事業」(1)の項目で別記

- (3) 母子寡婦福祉会への活動支援及び会員拡大に努めた。

- (4) 小学校、中学校、高等学校等入学のひとり親家庭を対象にお祝いを贈った。

項目	お祝金	件数	合計件数
小学校	3,000円	4件	22件
中学校	3,000円	4件	
高校等	5,000円	14件	

- (5) 母子寡婦福祉資金等貸付制度を紹介し生活を支援した。

8. ふれあいサロン事業

ふれあいサロン立ち上げの支援や活動費に対する助成を行いながら、地域の見守り活動や地域の活性化につながるよう運営についての相談や支援を行った。

(1) サロン設立初年度における備品助成を行った。

対象サロン数	助成金額
1 か所	13,064 円

(2) 開催実績回数（上限48回）に応じ助成を行った。

対象サロン数	助成金額
14 か所	341,000 円

(3) サロンに対するボランティア行事用保険の加入手続きを行った。

ア. 事故件数 2件（サロン準備片付け中及び帰宅途中のケガ）

(4) サロン活動に必要な備品の貸出を行った。

(5) サロンのPRや広報等ちらしを作成し活動を支援した。

(6) 地域サロンの運営関係者が一同に会し、情報交換できる「ふれあいサロン連絡会」を開催した。

開催日	場所	内容	参加数
12月14日	生きがい活動支援センター	<ul style="list-style-type: none"> 各サロンの近況報告、情報交換 地域包括ケアシステムにおけるサロンの役割 サロンで開催する地域ふれあい会食会について意見交換、質疑応答 	8サロン 17名

ア. 平成29年度ふれあいサロン開催実績

	種別	サロン名	開催日	場所	開催回数 参加者数
1	地域	外坪 ほっこり	第2・第4水曜日 9:00～12:00	外坪学共	24回開催 延882名
2	地域	大屋敷新田 いっぷく茶屋	第1土曜日 9:30～11:30	新田集会場	8回開催 延379名
3	地域	上小口萩島 茶々会	第2土曜日 13:30～16:00	萩島集会場	12回開催 延159名
4	地域	さつきヶ丘 サロンさつき	毎週水曜日 10:00～16:00	さつきヶ丘 防災センター	48回開催 延2,800名
5	地域	さつきヶ丘 元気会	第1金曜日 第3火曜日 13:00～15:30	さつきヶ丘 防災センター	20回開催 延262名
6	地域	大屋敷 にこにこ	第1・第3水曜日 9:30～11:30	大屋敷学共	23回開催 延517名
7	地域	河北 陽だまり	第2水曜日 9:30～11:30	河北区学共、仲沖集 会場、二ツ屋学共	11回開催 延562名
8	地域	替地 ふれあいサロン	第2・第4日曜日 21日9:00～12:00	替地集会場	17回開催 延119名
9	地域	豊田 どんぐりころころ	毎週金曜日 13:30～15:00	豊田学共	43回開催 延726人
10	障がい	フリースペース れんげそう	第2・第4木曜日 13:00～16:00	健康文化センター 4階 和室	24回開催 延389名
11	障がい	忘れな草の会	水曜日月2～4回 9:00～16:00	健康文化センター 2階または4階	35回開催 延278名
12	傾聴	傾聴サロン 笑桜会	第3火曜日 13:00～15:00	老人福祉センター 1階 憩い処さくら 屋	11回開催 延123名
13	子育て	子育てサロン まむ🌸まむ	毎週火曜日 10:00～12:00	健康文化センター 2階 おもちゃ図書 館	51回開催 延1,529名
14	介護・認 知症予防	オレンジカフェ・ 大口	第3木曜日 13:30～15:00	生きがい活動支援 センター	12回開催 延335名
サロン数合計			14か所	開催回数合計 参加者数合計	339回 延9,060名

9. 福祉関係団体の育成・助成

町内福祉団体や広域福祉団体に対し助成金を交付し事業の推進を図った。

団 体 名	金 額
身体障害者福祉協会	450,000 円
心身障害児（者）親の会	110,000 円
更生保護女性会	10,000 円
遺 族 会	380,000 円
母子寡婦福祉会	80,000 円
保護司会	10,000 円
大口しらゆり会	40,000 円
尾北地区聴覚障害者福祉会	10,000 円

10. 共同募金

共同募金運動への理解・協力を高めるため、募金の意義についての周知を図り、財源の充実と事業の拡大を進めた。

- (1) 大口町共同募金委員会運営委員会を年3回開催し、共同募金事業計画を策定し共同募金運動の推進を図った。

ア. 大口町共同募金委員会運営委員会

開催日	場所	内容
平成29年 6月5日	健康文化 センター1階 会議室	平成28年度の実績・監査結果報告 平成29年度の募金目標額及び赤い羽根共同 募金配分金事業について
平成29年 9月4日	健康文化 センター1階 多目的室	第69回赤い羽根協賛児童生徒作品コンクールの第一次審査 赤い羽根共同募金及び歳末たすけあい街頭募 金活動について
平成30年 2月22日	健康文化 センター1階 会議室	平成29年度赤い羽根共同募金実績報告 災害義援金送金実績報告 児童生徒作品コンクール結果報告
平成30年 3月1日		大口町共同募金委員会新運営委員紹介 大口町共同募金委員会会長選任について

イ. 赤い羽根共同募金：期間 10 月 1 日から 12 月 31 日

* 上段は平成 29 年度実績・下段は平成 28 年度実績

目標額	募金方法別実績額		増減額	達成率	
3,500,000 円	戸別	11 区	2,337,758 円	▲122,522 円	95.4%
		11 区	2,460,280 円		
3,550,000 円	法人	4 社	60,000 円	0 円	
		4 社	60,000 円		
	街頭	5 回	84,766 円	▲5,446 円	
		5 回	90,212 円		
	職域	31 社	491,491 円	19,102 円	
		31 社	472,389 円		
	その他	4 件	364,934 円	34,808 円	
		3 件	330,126 円		
合計			3,338,949 円	▲74,058 円	
			3,413,007 円		

ウ. 歳末たすけあい募金：期間 12 月 1 日から 12 月 31 日

* 上段は平成 29 年度実績・下段は平成 28 年度実績

目標額	募金方法別実績額		増減額	達成率	
140,000 円	街頭	1 回	67,115 円	▲8,849 円	103.6%
		1 回	75,964 円		
	職域	17 社	34,203 円	▲6,281 円	
		17 社	40,484 円		
150,000 円	法人	0 社	0 円	0 円	
		0 社	0 円		
	その他	6 件	43,768 円	23,587 円	
		3 件	20,181 円		
合計			145,086 円	8,457 円	
			136,629 円		

(2) 共同募金配分金事業の推進と充実を図った。

(3) 共同募金配分金事業を広く PR をし、協力事業所の拡大と、住民の認識を高めた。特に職域募金について、従業員間で直接募金を呼びかける職域募金活動の輪を広げる「赤い羽根共同募金バトンリレー」を支援した。

ア. 赤い羽根共同募金バトンリレー募金実績

実施日	実施事業所	募金額	参加数
10月11日	株式会社 青山製作所	65,737円	株式会社 青山製作所社員 17名 大口町共同募金委員会役職員 7名

(4) 町内店舗、ふれあいまつり等において協力団体による街頭募金を実施した。

ア. 街頭募金実績

実施日	募金種別	実施場所	募金額	協力・実施団体
10月1日	赤い羽根 共同募金	町民体育祭	32,216円	ボーイスカウト 大口第1団
10月3日	赤い羽根 共同募金	アピタ大口店、バロー大 口店、ヨシヅヤ大口店	37,849円	大口町民生委員 児童委員協議会
11月4日	赤い羽根 共同募金	ふれあいまつり	14,701円	大口絆つなぐネット 大口町共同募金委員会
12月23日	歳末たすけ あい募金	アピタ大口店、バロー大 口店、ヨシヅヤ大口店	67,115円	大口町 更生保護女性会

(5) 募金機能付自動販売機を設置し募金活動の普及に努めた。

ア. 募金実績 (※赤い羽根共同募金の「その他募金」実績額に含まれる)

設置場所	募金額
軽費老人ホーム大口一期一会荘 1階	313,098円
大口町健康文化センター1階	

(6) 災害復興義援金の窓口を設置し、募集・送金を行った。

ア. 送金実績

義援金名称	送金額
鳥取県中部地震災害義援金	1,938円
岩手県台風10号大雨等災害義援金	2,037円
糸魚川市大規模火災義援金	5,280円
平成29年7月5日からの大雨災害義援金	34,383円
大分県豪雨災害義援金	1,277円
秋田県大雨災害義援金	1,104円
台風21号三重県災害義援金	3,135円
和歌山県平成29年台風第21号災害義援金	1,296円
台風18号大分県災害義援金	1,670円
平成28年熊本地震義援金	9,585円
合 計	61,705円

11. 貸付事業

安定した生活を図るために他の資金の借入れが困難な所得の低い世帯や、障がい者・高齢者の方を含む世帯にご利用いただく貸付事業を行った。

さらに、貸付世帯に対する貸付後の訪問や相談支援を行いながら、償還指導を包括的に行った。

(1) 生活福祉資金貸付制度

ア. 相談件数 42 件

項目	福祉資金		教育支援資金
	福祉費	緊急小口資金	
件数	3 件	37 件	2 件

イ. 貸付状況

資金種類		件数	貸付金額(元金) (1)	貸付利子 延滞利子(2)	累計償還額 (3)	*未償還額 (滞納額を含む)(4)
福祉 資金	福祉費	3 件	2,320,000 円	1,094,445 円	1,048,800 円	2,365,645 円
	緊急小 口資金	7 件	570,000 円	387,632 円	83,403 円	874,229 円
離職者支援資金		1 件	2,400,000 円	1,865,657 円	57,140 円	4,208,517 円
総合支援資金		5 件	2,934,000 円	539,981 円	80,123 円	3,393,858 円
教育 支援 資金	教育 支援費	5 件	3,135,000 円	262,136 円	6,051,550 円	2,485,586 円
	就学 支度費	4 件	5,140,000 円			
計		25 件	16,499,000 円	4,149,851 円	7,321,016 円	13,327,835 円

*未償還額 (4)=(1)+(2)-(3)

(2) 県くらし資金（愛知県社会福祉協議会 原資 200,000 円）

ア. 貸付状況

*上段は平成 29 年度実績・下段は平成 28 年度実績

件数	累計貸付金額(1)	累計償還額(2)	*未償還額(3)
7 件	213,000 円	20,000 円	193,000 円
7 件	213,000 円	20,000 円	193,000 円

*未償還額 (3)=(1)-(2)

(3) 町くらし資金（大口町社会福祉協議会 原資 2,000,000 円）

ア. 貸付状況

*上段は平成 29 年度実績・下段は平成 28 年度実績

件数	累計貸付金額(1)	累計償還額(2)	*未償還額(3)
41 件	1,064,771 円	345,771 円	719,000 円
49 件	917,000 円	146,000 円	771,000 円

*未償還額 (3)=(1)-(2)

(4) 緊急一時貸付等

生活困窮者への緊急食糧支援として、フードバンクにより対応した。

ア. 支援件数 5件

12. 相談事業

専門機関や専門知識を持つ相談員による相談窓口を開設し、日常生活の悩みごとや地域における問題解決のための相談を行った。

(1) 心配ごと相談所

第1・第3水曜日 10:00～15:30

県女性相談員による女性相談、県母子父子自立支援員による自立支援相談
(第3水曜日は県女性相談員による女性相談のみ)

第4水曜日 13:30～16:30

高齢者・障がい者のための弁護士相談

ア. 相談状況 延34件 (男性2名・女性32名)

相談内容															合計
生計・年金	職業・生業	住宅	家族	結婚・離婚	健康・医療	精神	人権・法律	財産	児童福祉	教育・青少年	心身障がい	ひとり親家庭	高齢者福祉	苦情・その他	
1	4	1	10	7	3	4	0	4	3	0	1	4	1	3	46

(2) 総合福祉相談窓口常設

病気や障がい、認知症、生活困窮等、さまざまな理由により生じた日常生活の困りごとに関して、幅広く相談に応じた。必要に応じて、福祉サービスの利用支援、日常的な金銭管理や書類等の預かり等を行った。

ア. 相談状況

内容	件数
問合せ・相談のみ	2件
金銭管理等を含む 相談支援	218件

イ. 金銭管理等を含む相談支援の内訳

実利用者数 5名(男性1名・女性4名)

対象者	件数
認知症等高齢者	71件
知的障害者 精神障害者	147件
合計	218件

13. 日常生活自立支援事業

専門員による相談窓口を開設し、認知症高齢者、知的障害者、精神障害者等のうち判断能力が不十分な方が地域において自立した生活が送れるよう、利用者との契約に基づき、福祉サービスの利用援助等を行った。

- (1) 福祉サービス利用に関する相談・情報提供や手続きの支援
- (2) 日常的な金銭管理サービス
- (3) 書類や通帳等の預かりサービス

ア. 相談状況

問合せ・相談のみ
(初回相談受付含む)

対象者	相談件数
認知症高齢者	1件
知的障害者	1件
精神障害者	5件
不明・その他	0件
合計	7件

イ. サービス利用状況

福祉サービス利用援助契約者数 2名
相談援助(金銭管理、書類等預かり含む)

対象者	相談援助件数
認知症高齢者	0件
知的障害者	337件
精神障害者	386件
不明・その他	0件
合計	723件

14. 貸出事業

町民、行政区、学校、企業などを対象に各種貸出サービスを行った。

目的：地域コミュニティ・日常生活用具・外出支援・福祉教育・団体活動支援

- (1) 車椅子 (2) 松葉杖 (3) 福祉車両 (4) 綿菓子機
- (5) ポップコーン機 (6) 福祉教材(点字器・高齢者疑似体験セット・ビデオ)
- (7) 障がい者スポーツ用具(ドッジビー・ボッチャ・ディスクゲッター等)

ア. 貸出状況 *上段は平成29年度実績・下段は平成28年度実績

種 類		種 類	
車イス・松葉杖	107件	福祉車両・ 普通自動車	10件
	109件		17件
綿菓子機・ ポップコーン機	17件	福祉教材・ サロン用備品等	11件
	15件		18件
障がい者スポーツ 用具	14件	合計	159件
	10件		169件

15. 在宅福祉サービス3事業所の経営

介護保険法や障害者総合支援法における介護サービスのほか、独自サービスや行政からの委託事業などを実施し、在宅生活を支えた。

- (1) 大口社協居宅介護支援事業所（介護・介護予防）
- (2) 大口社協訪問介護事業所（介護・介護予防・障害者総合支援・独自・委託事業）
- (3) 大口社協デイサービスセンター（介護・介護予防・独自・委託事業）

ア. 3事業所の実績

* 上段は平成29年度実績・下段は平成28年度実績

* 利用者数（延べ人数）は、平成29年度1年間の延べ利用者数
平成30年3月末現在の実利用者数

①大口社協居宅介護支援事業所（介護、介護予防）

区 分	予 防	介護度 1～2	介護度 3～5	合 計
利用者数 (延べ人数)	207 名	520 名	232 名	959 名
	247 名	511 名	205 名	963 名
利用者数 (実人数)	15 名	39 名	21 名	75 名
	21 名	44 名	17 名	82 名
収 入	813,450 円	8,863,536 円		9,676,986 円
	977,460 円	7,992,951 円		8,970,411 円
増 減	▲164,010 円	870,585 円		706,575 円

②大口社協訪問介護事業所（介護、介護予防、障害者総合支援、独自、委託事業）

区 分	居 宅 介 護 等	軽度生活援助	障害者総合支援	合 計
利用者数 (延べ人数)	4,263 名	241 名	2,495 名	6,999 名
	4,474 名	338 名	2,086 名	6,898 名
利用者数 (実人数)	32 名	3 名	28 名	63 名
	33 名	7 名	31 名	71 名
収 入	13,087,393 円	506,100 円	11,370,288 円	24,963,781 円
	13,170,091 円	709,800 円	10,274,202 円	24,154,093 円
増 減	▲82,698 円	▲203,700 円	1,096,086 円	809,688 円

③大口社協デイサービスセンター（介護、介護予防、独自、委託事業）

区 分	通 所 介 護	生きがい活動	いきいき教室	合 計
利用者数 (延べ人数)	⑦ 838 名、⑧ 3,634 名	196 名	1,540 名	6,208 名
	⑦ 896 名、⑧ 3,163 名	438 名	2,099 名	6,596 名
利用者数 (実人数)	⑦ 8 名、⑧ 25 名	0 名	20 名	62 名
	⑦ 8 名、⑧ 22 名	10 名	27 名	67 名
収 入	35,030,173 円	829,998 円	4,004,000 円	39,864,171 円
	30,997,973 円	1,817,748 円	5,457,400 円	38,273,121 円
増 減	4,032,200 円	▲987,750 円	▲1,453,400 円	1,591,050 円

(4) 毎月経営会議を開催し、経営強化に努めた。

(5) 介護職員の研修会等への参加を促進し、スキルアップやサービスの質の向上に努めた。愛知県ホームヘルパー連絡協議会ブロック別研修会開催に努めた。

16. 防災・災害事業

防災・災害に関する啓発活動や、ボランティア団体等と協働し、災害救援や防災のノウハウを広めながら、町民の防災意識の高揚を図った。

(1) 大口町防災啓発事業を受託した。

*防災・災害に関する講演会を開催し、地域の防災意識の高揚と、防災力の向上を図る。

ア. 防災講演会

講師 特定非営利法人 愛・地球博ボランティアセンター

理事長 鈴木 盈宏 氏

演題 「南海トラフ地震に負けない強靱なまちづくりを目指して」

情報支援 あいち聴覚者障害者センター 手話通訳士

要約筆記スマイル大口

開催日	場所	内容	参加数
9月9日	健康文化センター4階 ほほえみホール	阪神・淡路大震災の支援を経験した講師が、自分の命を守り自分たちでまちを復興するためには、日頃の近所づきあいや家具固定、備蓄品等の備えが大切であると訴え、町民の防災意識を啓発した。	114名

*防災・災害に関する講座及び訓練を実施し、ボランティアを養成する。

イ. 家具固定ボランティア養成講座（啓発講座）の開催

講師 一般社団法人わがやネット 代表理事 児玉 道子 氏

成果 災害時に家具転倒による被害を防ぐ家具固定について、自分で家具固定をすることが難しい高齢者や障がい者等を手伝うボランティア養成のきっかけとなる講座を開催し、町民に対して啓発を行うことができた。

開催日	場所	内容	参加数
11月23日	健康文化センター1階 多目的室	家具固定の基礎を学び、ガラス飛散防止フィルム張り、ボードの下地探し、木枠によるビス打ち等の実習を行った。	12名

(※)「18. 生活支援体制整備事業」(1)の項目で別記

(2) 地域の防災訓練において、各種訓練等を実施する。

ア. 地域の防災訓練への参加・協力

開催日	場所	訓練等名称	内容
10月28日	大口北小学校 体育館	北地域 避難・防災訓練	車いすの操作、毛布や衣類を使った応急担架の作り方を社協職員が実演。 地域住民・民生委員児童委員とともに、災害時に動けない方を避難誘導するための訓練を行った。
11月26日	大屋敷学共	大屋敷地区 防災対策講話	
平成30年 1月24日	健康文化 センター1階 多目的室	民生委員児童委員 定例会研修会	

イ. ふれあいまつり会場での炊き出し訓練

開催日	場所	内容
11月4日	中央公民館 駐車場	ふくしわくわくランドの大口絆つなぐネットのブースで、ボランティアと社協職員が災害時炊き出し訓練を行い、炊き出し汁400杯を配布した。

(3) 岩手県遠野市社協との相互応援協定締結により災害時相互応援協定継続事業を実施した。

ア. 岩手県遠野市社会福祉協議会・大口町社会福祉協議会 合同災害支援訓練

「災害時相互応援協定」に基づき、大口町社会福祉協議会職員が遠野市へ出向き、被災地後方支援活動を想定した合同災害支援訓練、勉強会を実施した。

実施日	場所	内容
7月9日	岩手県遠野市 社会福祉協議会 遠野市防災 センターほか	平成28年8月台風10号で甚大な被害を受けた岩手県岩泉町で、遠野市社会福祉協議会が行った被災地後方支援について研修。遠野市防災センター、後方支援資料館見学。
7月10日	遠野市綾織地区 (綾織まつり会場)	遠野市社会福祉協議会役職員、綾織地区住民とともに、災害時炊き出し訓練としてきしめん400食の炊き出しを行った。

17. 新しい総合事業

超高齢社会を迎え、介護が必要な状態になっても住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される「地域包括ケアシステム」を世代や病気・障害の有無を問わず、すべての住民をまるごと包み込む地域づくりととらえ、誰もが孤立せず、お互い見守り支え合うための仕組みづくりを住民や関係機関とともに考えた。

また、要支援者の訪問介護・通所介護サービスが新しい総合事業へ移行するため、行政・関係機関等とともにサービス提供の体制整備に取り組んだ。

- (1) ふれあいサロンや地域で行われる話し合いの場に出向き、地域の居場所や生活支援サービス等の仕組みづくりを含めた見守り支え合う地域づくりを住民とともに考えた。

話し合いの場	内容	回数
地域ふれあいサロン、 介護予防等の集いの場、 介護者のつどい等	地域の情報収集 社会資源・ニーズ把握	57回
まちづくり座談会 (南地域・北地域・中地域)	地域住民や地域自治組織関係 者との話し合い、情報収集	6回

(※)「18. 生活支援体制整備事業」(1)・(3)の項目で別記

- (2) 町の社会資源を把握するため、既存の団体や企業、地域拠点等の情報収集を行った。(※)「18. 生活支援体制整備事業」(1)の項目で別記
- (3) 地域住民の誰もが参加できるふれあいサロン活動の拡大を推進した。
(※)「8. ふれあいサロン事業」の項目で別記
- (4) 孤立しやすい高齢者や障がい者等を含め、地域住民の交流の輪を広げる「地域ふれあい会食会」の開催を支援した。
- ・ふれあいサロンで会食会を開催する際の費用を助成
 - ・会食会のPRちらし等の作成

ア. 地域ふれあい会食会 開催状況

実施日	場所	参加数
2月14日	外坪区ふれあいサロン ほっこり（外坪学共）	58名
2月14日	河北区ふれあいサロン 陽だまり（河北学共）	64名
2月25日	さつきヶ丘区ふれあい（さつきヶ丘防災センター）	85名
3月10日	替地ふれあいサロン（替地集会場、お茶会形式で実施）	12名
3月14日	河北区ふれあいサロン 陽だまり（仲沖集会場）	73名
3月16日	豊田区ふれあいサロン どんぐりころころ（豊田学共）	90名
3月24日	上小口萩島地区ふれあいサロン 茶々会（萩島集会場）	30名
合計		412名

（5）介護サービスの新しい総合事業への移行や在宅医療・介護連携等、新しい総合事業に関する行政及び関係団体等との会議・研修会等に参加した。

（※）「18. 生活支援体制整備事業」（2）の項目で別記

18. 生活支援体制整備事業

大口町生活支援体制整備事業を受託し、生活支援コーディネーターとして、住民・関係団体・行政等の関係者の連携・協働を推進しつつ、地域に必要とされるサービス創出に向けた取り組みを行った。

（1）地域に不足するサービスの創出及び日常生活支援の担い手となるボランティア等の養成、高齢者等が担い手として活動する場の確保等

① 地域の社会資源の情報や生活支援ニーズを把握するため、高齢者の集いの場、介護予防、健康づくり、見守り等を中心とした情報収集を行い、『大口町地域資源マップ』（2018年3月大口町発行）を編集した。

内容	回数
地域のふれあいサロン、いきいき100歳体操や介護予防教室等の介護予防・健康づくりの活動の場、老人クラブ、学共、中央公民館、老人福祉センター憩いの四季、ウィル大口スポーツセンター、トレーニングセンター等の活動拠点を訪問 ふれあいサロン関係者、区長、民生委員等との話し合いの場に参加	57回
収集した地域の情報を元に、社会資源マップを作成・編集	27回

② 社協だよりを活用し、地域住民に対し、地域包括ケアシステム及び日常生活支援（支え合い活動）の周知啓発に努めた。

③ 日常生活支援に関連する講座・研修会を開催し、担い手となる受講者の地域活動の支援と、今後の人材育成につながる情報発信を行った。

(※) ボランティア養成講座、大口町防災啓発事業、社会福祉協議会合同研修会と兼ねて実施したものについては、「3. ボランティア活動の強化と拡大」(2)、「16. 防災・災害事業」(1)、「1. 社協組織の充実と会員の拡大」(1)の項目で別記

ア. 生活支援に関連する講座・研修会開催後の状況

開催日	講座名称	状況
10月23日	運転ボランティア養成講座	安全運転講習の受講者が、ふれあいサロンへ徒歩で来られない高齢参加者の希望を受け、サロン会場へ車で送迎した。
11月15日 11月22日	レクリエーションボランティア養成講座	受講者がボランティアサークルを立ち上げ、ふれあいサロン・地域の集いの場を活性化するレクリエーションを行った。
11月23日	家具固定啓発講座	高齢者や障がい者等の家具固定を手伝う担い手養成の啓発を行ったことで、次年度の地域での開催要望につながった。
2月27日	社会福祉協議会合同研修会	福祉・地域づくりに携わる社会福祉協議会関係者が一同に会し、生活支援サービスの立ち上げと担い手養成について理解を深めた。

④ 高齢者等の地域住民が担い手となる地域ふれあいサロンの活動を推進した。
サロン訪問回数 38回

(※) 「8. ふれあいサロン事業」の項目で別記

(2) 関係者間の情報共有、連携の体制づくり等として、行政や地域自治組織等の主催する会議・研修会・集いの場等に出席した。

ア. 会議・研修会・集いの場等

名称	回数
大口町協働研修	2回
まちづくり協働フォーラム	1回
まちづくり座談会（南地域・北地域・中地域）	6回
中地域自治組織福祉部会 認知症研修会	1回

名称	回数
北地域自治組織主催 北地域避難・防災訓練	1回
高齢者サービス調整会議	6回
大口町地域包括ケアシステム構築に向けた連携会議 (事前打合せを含む)	14回
大口町介護予防推進検討会	7回
大口町介護予防研修会	3回
大口町在宅医療・介護連携事業全体会	1回
大口町福祉講演会	1回
新しい総合事業検討会	16回

(3) 地域における高齢者の日常生活支援に係る支援ニーズと、地域ですでに行われている生活支援（支え合い活動）を把握するため、以下の話し合いの場に参加し、情報収集を行った。（回数は（1）①、（2）の項目より再掲）

ア. 会議・話し合いの場等

名称	地域	内容	回数
民生委員・地域包括支援センター・行政担当課・社協による地区別懇談会	垣田・大屋敷・豊田・下小口・河北	高齢者等に関する関係機関の支援状況・情報共有	5回
ふれあいサロン運営者、区長、老人クラブ関係者等との話し合い、意見交換	さつきヶ丘・大屋敷・大屋敷新田・河北・垣田・替地	地域アセスメントシートによる情報整理、ニーズ把握	6回
まちづくり座談会	南地域 北地域 中地域	地域住民や地域自治組織関係者との話し合い、情報収集	6回

(4) 生活支援サービス提供主体等が参画する定期的な情報共有・連携協会の場（協議体）の設置に関する業務として、「大口町地域包括ケアシステム構築に向けた連携会議」等において、健康生きがい課をはじめとする関係機関とともに、協議体のあり方について検討した。

19. 福祉関連事業

(1) 福祉事業功勞の顕彰や講演会等を開催した。

ア. 社会福祉法人 大口町社会福祉協議会 法人設立30周年記念事業

大口町表彰式、法人設立30周年記念講演会

司 会 音訳ボランティアたんぽぽ

情報支援 大口町手話サークルコスモス、要約筆記スマイル大口

開催日	場所	内容	来場者
7月1日	大口町民会館	第1部 大口町表彰式 社会福祉協議会の顕彰者 ・社会福祉協議会会長表彰 ボランティア活動30年以上 3団体 福祉団体の長5年以上 2名 家庭介護5年以上 1名 ・社会福祉協議会会長感謝 福祉事業増進のための寄付(個人) 1名 福祉団体役員10年以上 2名	473名
		第2部 法人設立30周年記念講演会 講 師 西川 へレンさん テーマ「西川へレンの人生ドラマ 大家族一支え愛、語り愛、励まし愛」	

イ. 愛知県社会福祉大会

開催日	場所	顕彰者	参加数
10月19日	愛知県体育館	大口町社会福祉協議会推薦分 県社会福祉協議会会長感謝 6名 県共同募金会長表彰 1名	約1万名 (会全体)

(2) 点字投票制度への協力を行った。

(3) 社会福祉事業に関する福祉サービス苦情解決制度により、苦情解決を行った。

ア. 第三者委員への苦情報告件数 5件